

2026 年 8 月 31 日

NANOホールディングス株式会社
代表取締役会長兼社長CEO 松村 淳
(4571 東証グロース)
問合せ先 IR 担当 土屋 千映子
電話番号 03-6432-0020
URL <https://www.nano-hd.com>

TUG1 ASO の Phase Ib 試験開始に関するお知らせ

当社戦略子会社である NANO MRNA 株式会社（代表取締役社長 秋永士朗）は、再発膠芽腫を対象とした TUG1 ASO の Phase Ib 試験（以下「本試験」）を開始いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本試験開始の背景

TUG1 ASO は、名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍生物学教授 近藤豊先生の研究成果を基盤として開発を進めている核酸医薬であり、NANO MRNA 独自の DDS 技術 YBC ポリマーを用いた製剤です。FIH（First-in-Human）試験となる医師主導 Phase Ia 試験は 2024 年 2 月に開始し既に終了しており、週 1 回投与における安全性及び忍容性が確認されています。今回、薬物動態および有効性の観点から一部投与スケジュールを変更した Phase Ib 試験の実施を決定し、第一症例への投与を開始致しました。

本試験の対象疾患である再発膠芽腫は、悪性度が極めて高く、有効な治療選択肢が限られている難治性の脳腫瘍です。Phase Ia 試験では 1 例の患者において 312 日間にわたり病勢安定（Stable Disease：SD）が維持され、その期間中には部分奏効（Partial Response：PR）が認められるなど、有効性を示唆する結果が得られております。

これらの試験結果を踏まえ、本試験では新たな投与スケジュールを採用し、安全性、忍容性、推奨用量及び抗腫瘍効果を評価するとともに、有効性および薬物動態をさらに検証し、本製剤の価値を見極めて参ります。

2. Phase Ib 試験の概要

対象疾患	再発膠芽腫
投与スケジュール	治療開始後 1 か月間は週 2 回投与、その後は週 1 回投与
主な評価項目	安全性、忍容性、推奨用量及び抗腫瘍効果
治験責任医師	名古屋大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 斎藤竜太教授
予定症例数	最大 12 例

以上